

## 戦 評

大会名	2017 年度 第 45 回木戸杯兵庫県学生優勝大会 (男子)		
開催日	2017 年 11 月 19 日	会場	流通科学大学
主審	早崎 康祐	副審	内田祥平、陳 海登
記録者	吉田勝太郎 (関西学院大学) 岸本理紗子 (甲南大学)		
勝ちチーム	スコア		負けチーム
関西学院大学 A	101	23-18	87
		27-17	
		29-20	
		22-32	
流通科学大学 A			

### 戦 評

#### 【総括】

2017 年度木戸杯兵庫県学生バスケットボール選手権大会決勝は、関学大が高さを武器に序盤から得点を重ね、第 4 クォーターで流科大が大幅に差を縮めるも関学大が県学生のリベンジを果たし優勝に輝いた。

第 1 ピリオド開始直後関学 #22 堤シュートにより先制する。関学大の #10 松原と #50 坂本が高さのあるプレーで連続得点するも、流科大 #6 清水がスピードを生かしたプレーでくらいつく。関学大 #14 高山が 2 連続で 3 ポイントシュートを決めるのに対し、流科大 #9 諏訪の個人技で対抗する。第 1 ピリオドを 23-18 の関学大リードで終了。

両チーム第 1 ピリオドと同様、マンツーマンディフェンスで開始する。第 2 ピリオド 2 分経過での関学大のファストブレイクが決まり、10 点差となったところで流科大がタイムアウト。高さのある関学大に対し流科大 #12 七田は鋭いドライブで点を重ねる。両チームともアウトサイドシュートを高確率で沈め、前半を 50-35 で関学大がリードで折り返す。

第 3 ピリオド 3 分経過したところで関学大がハーフコートのゾーンディフェンスに変えるも、流科大 #2 垣崎と #12 七田が連続で 3 ポイントシュートを決め、流れを掴む。関学大はメンバーチェンジを頻繁に行いながら確実に点数を重ねていき、流科大 #9 諏訪が奮闘をみせるも点差を縮めることができない。79-55 で関学大がリードのまま最終クォーターへ。

第 4 ピリオド開始直後、流科大 #9 諏訪 #32 高田 #8 松浦が立て続けに 3 ポイントシュートを沈め関学大たまらずタイムアウトを要求する。その後流科大 #8 松浦がダンクシュートを決めチームを勢いづける。攻守にわたる流科大 #6 清水の活躍により一気に差を縮めるも、関学大 #25 山本が 100 点目のレイアップを決め 101-87 で関学大が勝利をおさめた。